

授業での活用（実践報告例）

【情報コミュニケーション科】

1) 使用ソフト名（価格）

- ・ストップモーションスタジオ（基本機能は無料）
- ・ムービーメーカー（無料）

2) 使用状況

学年	学科	科目	週あたりの使用率 (使用時間数/授業時数)
専 I	情報コミュニケーション科	マルチメディア実習 I	5 / 20

3) 使用例および生徒の反応

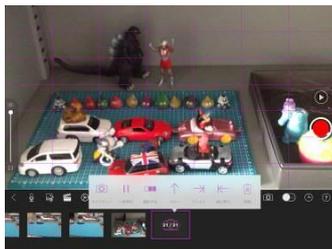
- ・ iPad の「ストップモーション」は、内蔵カメラで静止画の撮影を繰り返した後、それらを連続再生することで、パラパラ漫画のような動画を作成できるアプリである。
- ・ Windows PC の「ムービーメーカー」は、動画ファイル等を編集して、ビデオ作品を完成させることのできるソフトウェアである。
- ・ 生徒は、玩具・文具等の静止画を撮影しては少し動かすといった作業を繰り返し、動画ファイルを作成した。それを Windows PC にコピーし、「ムービーメーカー」を使用して字幕付与等を行い、ビデオ作品を完成させた。
- ・ 撮影中は、ストーリー性を持たそうとあれこれ考えながらも、操作自体はスムーズに進んでいるようだった。字幕付与の場面では、見て楽しめる作品になるよう、試行錯誤している様子が見られた。



撮影した静止画の例



左の数コマ後の静止画



「ストップモーション」の操作画面



字幕付与後の作品

4) 今後の展望（来年度に向けての工夫等）

- ・ 「ストップモーション」は、従来より使用されてきたアプリであるが、動画の原理の初歩的な理解には、体験的に学習できるという点で、やはり適していると考える。
- ・ 「ムービーメーカー」は、数ある動画編集ソフトの中でも比較的簡単に操作ができるため、見て楽しめる作品作りに集中することができた。このソフトウェアは、生徒の今後の自発的な創作活動を促しうるものであると考えられる。
- ・ 来年度は、撮影前にストーリーを十分に練らせ、撮影に集中できるようにするとよい。